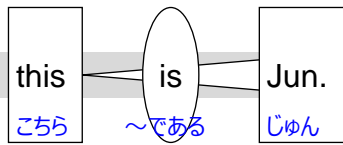


## ◇ Ms. Chen, this is Jun.

チェン先生



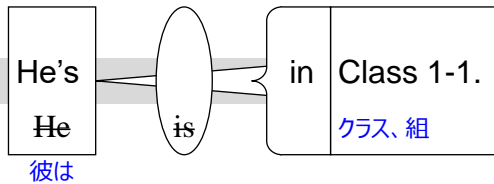
チェン先生、こちらはじゅんです。

※ Ms. ～： {女性に対して} ～さん、～先生  
 Mr. ～： {男性に対して} ～さん、～先生

※ this： {自分から近くにいる人、物を指して} こちら、これ

※ ○○は～であるの全パターン【主語とbe動詞の対応】  
 ・ 1.私 I **am** | 2.あなた You **are** | 3.その他 ○○ **is**  
 ・ B.2人以上 ○○ **are**

## ◆ He's in Class 1-1.



彼は1-1組の一員です。

◆ he： {既に言及された男性について言う時} 彼は

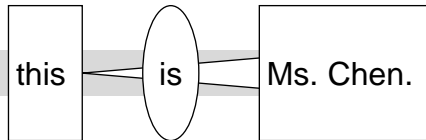
\* he が主語なら be動詞は **is**

※ he's： he is の短縮形

※ in [ ]： □ [場所] で、の中で in the gym(体育館の中で) ;  
 図 [所属先/会員となっている先] の一員で

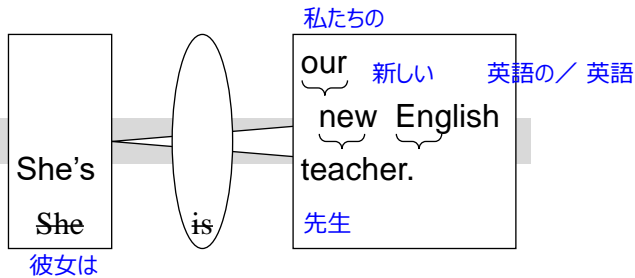
☆ ～の中 in the art club(美術部の一員)

## ◇ Jun, this is Ms. Chen.



じゅん、こちらはチェン先生です。

## ◆ She's our new English teacher.



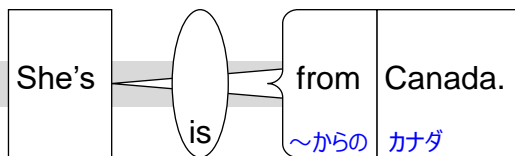
彼女は私たちの新しい英語の先生です。

◆ she： {既に言及された女性について言う時} 彼女は

\* she が主語なら be動詞は **is**

※ she's： she is の短縮形

## ◇ She's from Canada.



彼女はカナダ出身です。

※ from [ ]： ☆ 起点 ～から

□ [場所/人/物] から from school(学校から(帰るなど)) ;

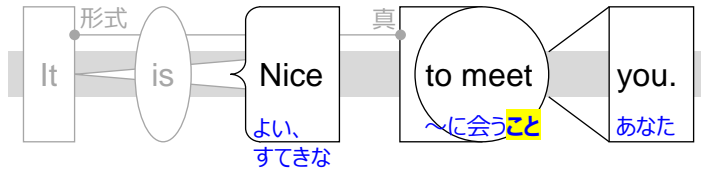
図 [出身地・出所] から、出身

◇ Hello, Jun.

こんにちは、じゅん。

◇ Nice to meet you.

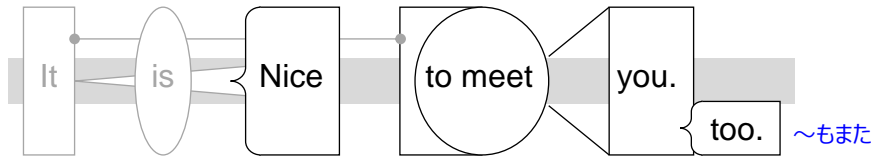
あなたにお会いするのはうれしいです。→ はじめまして。



※ to meet : 会うこと < to + 動詞の原形> 「～すること」  
 \* 2年生で詳しく学習

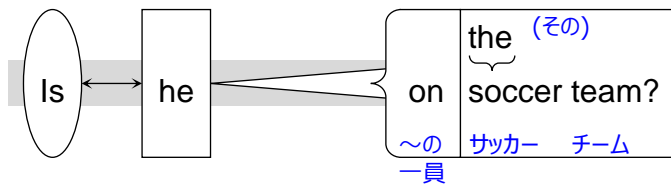
◇ Nice to meet you, too.

あなたにお会いするのもうれしいです。→ こちらこそ、はじめまして。



◆ Is he on the soccer team?

彼はサッカー・チームの所属ですか。



◆ be動詞は主語と順序を入れ替えると質問する文になる

※ on [ ] : □ [場所/人/物] の上・表面で(接触して) on the stage(ステージ上で) ;  
 ☆ 接触 □ [所属先/参加している先] の一員で

※ the ~ : {状況から皆が特定できる人・物に言及する時} (その)~ \* この学校のサッカー・チーム

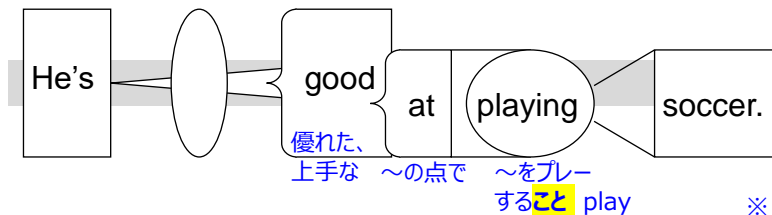
◆ Yes, he is.

はい、(彼は) そうです。

◆ 「はい」と答える文 &lt;Yes, + 主語 + be動詞. &gt;

◇ He's good at playing soccer.

彼はサッカーをプレーするのが上手です。



※ at [ ] : □ [建物/地点など] で at the door(ドアの所で) ;  
 ☆ 一点 □ [評価対象の活動・テーマ] において

※ playing : プレーすること < ...ing> ...は動詞 「...すること」  
 \* 2年生で詳しく学習

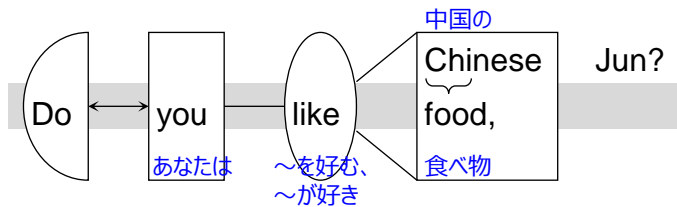
◇ Cool!

カッコいいですね！

※ cool : □ {気温など} 涼しい ;  
 □ 冷静な ;  
 □ {\*1940年代頃~} カッコいい

## ◇ Do you like Chinese food, Jun?

あなたは中国の食べ物が好きですか、じゅん。



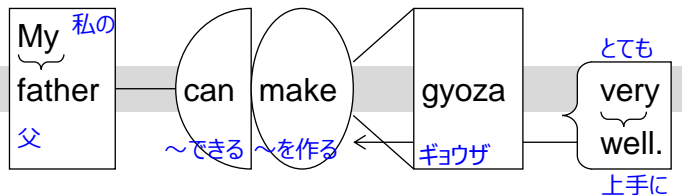
※ 一般動詞では do を主語の前に置くと質問する文になる

## ◇ Yes, I do.

はい、(私は) 好きです。

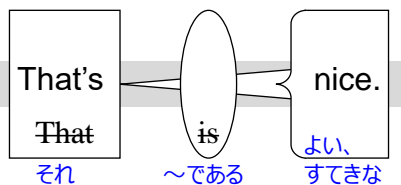
## ◆ My father can make gyoza very well.

私の父はとても上手にギョウザを作れます。

◆ 助動詞 can < can + 動詞の原形 >  
{能力・可能}「～できる」

## ◇ That's nice.

それはいいですね。

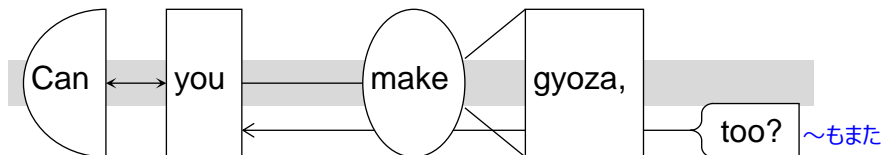
※ that : □ {自分から遠くに人、物を指して} あちら、あれ ;  
☒ {既に言及された人、物、考えなどを指して} それ ;

※ that's : that is の短縮形

※ ○○は～であるの全パターン【主語とbe動詞の対応】  
・ 1.私 I **am** | 2.あなた You **are** | 3.その他 ○○ **is**  
・ B.2人以上 ○○ **are**

## ◆ Can you make gyoza, too?

あなたもギョウザを作れますか。



◆ 助動詞は主語と順序を入れ替えると質問する文になる

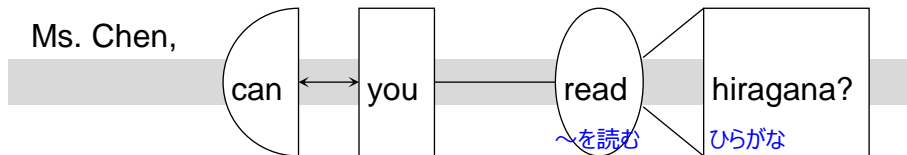
## ◆ Yes, I can.

はい、(私は) 作れます。

◆ 「はい」と答える文 &lt;Yes, + 主語 + can. &gt;

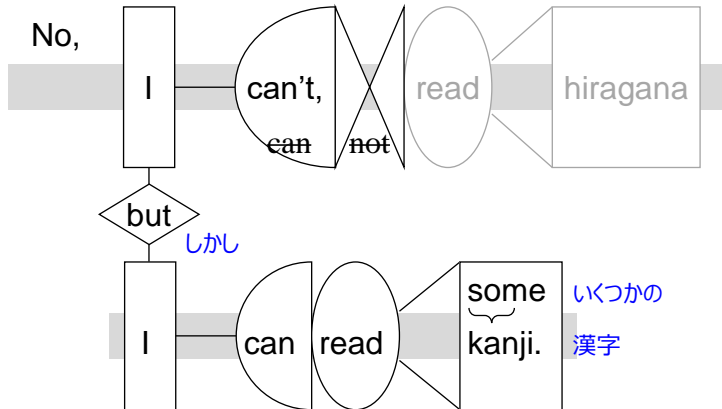
◇ Ms. Chen, can you read hiragana?

チエン先生、あなたはひらがなを読めますか。



◆ No, I can't, but I can read some kanji.

いいえ、（私は）読めません、でも私はいくつかの漢字を読めます。



◆ 「いいえ」と答える文 &lt;No, + 主語 + cannot. &gt;

※ can't : cannot の短縮形 can not と書いてもOK

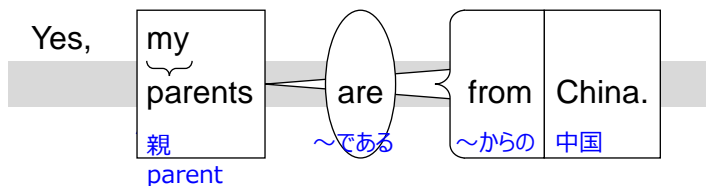
◆ 助動詞の後に not を置くと「～ない」と否定する文になる  
I cannot read hiragana.(ひらがなを読めない)※ some : {肯定文で}{正確な数/量を言わない時に} いくつかの  
\* 少しでもたくさんでも使える (文脈による)

◇ Really?

本当に？

◇ Yes, my parents are from China.

はい、私の両親は中国出身です。



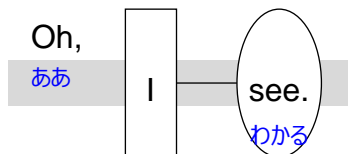
※ parent : 親(父か母)

parents : 両親 <名詞に s > 2人・2つ以上であることを表す  
\* Unit 4で詳しく学習

\* 1人を指すなら My parent is from China.

◇ Oh, I see.

ああ、（私は）わかります。→ なるほど。



※ see : □ ～を見る・が見える Can you see that?

(見える?(指差しながら));

☑ ～を知る・理解する、わかる;

□ ～と会う See you.

(じゃあね/またね(また会うときの挨拶))

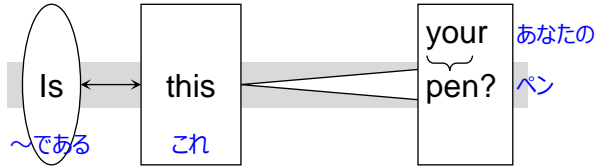
## ◇ Excuse me.

すいません。

※ excuse me : {特に人に質問したい時に} 人の注意をひくための丁寧な表現

※ excuse ~ : ~を許す {不注意・失礼など深刻でない悪い点}

## ◆ Is this your pen?



これはあなたのペンですか。

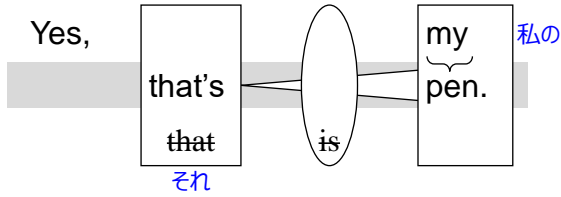
◆ **this** : {自分から近くにいる人、物を指して} **こちら、これ**

\* this/that/it が主語なら be動詞は is

※ ○○は〜であるの全パターン【主語とbe動詞の対応】

- ・ 1.私 I **am** | 2.あなた You **are** | 3.その他 ○○ **is**
- ・ B.2人以上 ○○ **are**

## ◆ Oops. Yes, that's my pen.



あらら。はい、それは私のペンです。

◆ **that** : □ {自分から遠くにいる人、物を指して} **あちら、あれ** ;  
□ {既に言及された人、物、考えなどを指して} **それ** ;

※ Oops : {小さなミスをした時に言う} おっと！ しまった！

## ◇ Here you are.

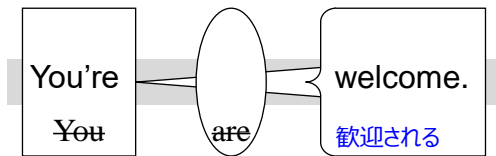
はい、どうぞ。

※ Here you are : 人に何かを差し出す時に使う  
(= Here you go)

## ◇ Thank you.

ありがとうございます。

## ◇ You're welcome.



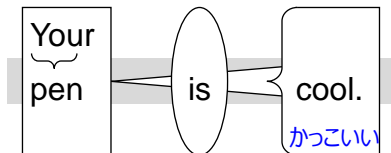
どういたしまして。

※ you're : you are の短縮形

※ you're welcome : お礼の言葉への丁寧な回答

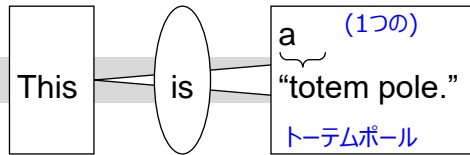
※ welcome : 歓迎される

## ◇ Your pen is cool.



あなたのペンはカッコいいです。

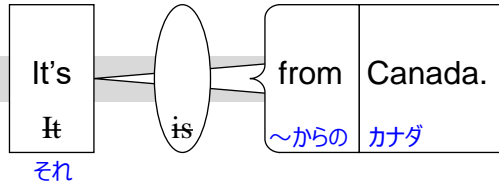
## ◆ This is a “totem pole.”



これは「トーテムポール」です。

※ a ～ : {人・物(単体)の一般名・種類を言う時  
(その中の1人・1つに言及する時)} (1人・1つの)～

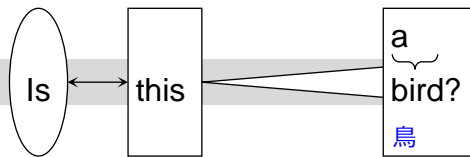
## ◆ It's from Canada.



それはカナダからのものです。

◆ it : {既に言及された物(人以外)について言う時} **それは**  
 \* ここでは This(これ)、つまりトーテムポールの柄のペンを指す  
 参考) トーテムポール(というものは)カナダ由来、と話題を変えるなら  
 Totem poles are/come from Canada. など  
 ※ it's : it is の短縮形

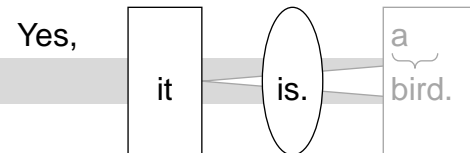
## ◆ Is this a bird?



これは鳥ですか。

◆ be動詞は主語と順序を入れ替えると質問する文になる

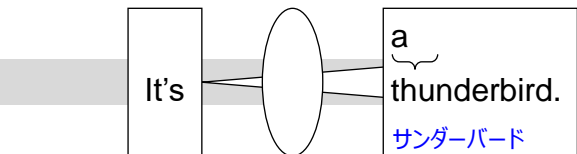
## ◆ Yes, it is.



はい、(それは) そうです。

◆ 「はい」と答える文 &lt;Yes, + 主語 + be動詞 . &gt;

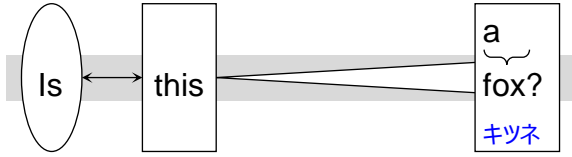
## ◇ It's a thunderbird.



それはサンダーバードです。

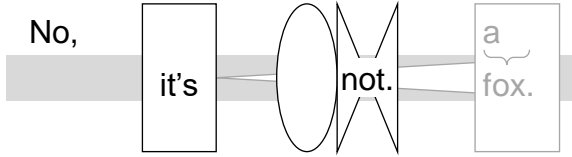
◇ Is this a fox?

これはキツネですか。



◆ No, it's not.

いいえ、（それは）そうではありません。



◆ 「いいえ」と答える文 <No, + 主語 + be動詞 + not. >

◇ It's a wolf.

それはオオカミです。

